

特集

町に響くイメージソング 「このまちで」



演歌歌手

小島よしき



フェリーチェ

江島 昭子

故郷で見つけた宝物

生まれ育った上峰町を拠点に、県内外のステージに立つ演歌歌手の小島よしきさん。

これまでに鎮西山をテーマにした「ちんぜい音頭」など地域に根差した歌を作っていたことから、イメージソングの作成を任せられました。

曲に込めた小島さんの思いと、合唱曲づくりに奔走した江島さんにお話を伺いました。

町制施行30周年を記念して作成されたイメージソング「このまちで」。2018年11月に開催した記念式典で、作詞・作曲した小島よしきさんによって披露されました。



えじま あきこ
江島 昭子さん

フェリーチェ(一番ヶ瀬ひずる、江島昭子、後藤契子による女声三重唱ユニット)のメゾソプラノ担当。様々なジャンルの音楽でコンサート活動を行っています。
上峰町商工会女性部 部長

上峰町イメージソング「このまちで」のCDを無料配布しています。ご希望の方は配布場所にお越しください。

「このまちで」のCDを配布中!



配布場所

- ・上峰町商工会
- ・まち・ひと・しごと創生室(役場2階)
※数に限りがあるため、先着順となります。

問い合わせ

上峰町商工会
☎0952-52-9505

「このまちで」を熱唱する小島さん▶



受け継がれる曲を目指して

「曲作りを通して自分の生き方と向き合う機会となり、大きい夢を追いかけ、足元を見ていなかった自分に気づきました。改めてこの町で暮らす人々の輝きや営みを感じ、日常こそが宝物だと思え、故郷へのいとおしさが込み上げてきました。本当に大事なことに気づける瞬間って誰にでもあると思います。朝、通学や通勤など、それぞれの向かう道に立った時、それが想起できるような歌をイメージしました」と話す小島さん。

曲は軽やかなメロディーに乗せ、「真っ直ぐ伸びる道」「新しい朝」という歌詞から始まります。歌詞に固有名詞を入れないことでそれぞれが「自分の歌」として聞けるようにとこだわり、イメージソング「このまちで」が完成しました。

式典当日、会場で「このまちで」を聞いた江島さんは、明るく爽やかでみんなで歌うのにぴったりなこの曲をもっと町の皆さんに知ってもらいたいと立ち上がります。

「校歌のように大人になっても口ずさんだり、歌ったことを思い出せたりするといいなと思っただけです。原曲を小中学生が歌いやすいように、合唱用に編曲しパート練習にも活用できるCD制作に取り組みました」と話します。

実は江島さんは女声三重唱ユニット「フェリーチェ」の一員。様々な方の力を借りて合唱曲に編曲し、フェリーチェが歌唱を担当しました。各パートのコーラス、ピアノ伴奏、オリジナル音源などを収録し、「このまちで」のCDが完成。

音楽に満ちた町へ

第34回上峰町民文化祭で配布すると「明るくて覚えやすい」と大変好評で、上峰中学校では毎日流れるようになり、かみちゃりグランプリなどのイベントでもBGMとして活用されています。

小島さんは「世代を超えて歌い継がれていくと嬉しいですね。そのためにも合唱バージョンができたことは良かったと思うので、江島さんの取り組みに感謝です」と笑顔を輝かせます。

演奏活動を活発に行う江島さんは、「大人の合唱団で混声合唱をするとか、入学式や卒業式の時にブラス編成で演奏するなど、さらにこの曲が広がり、町自体の音楽活動が高まると嬉しいですね。音楽があふれる町になってほしいです」と期待を膨らませます。

「夢を描こう このまちで 輝こう このまちで」希望に満ちたこの曲を、みんなで口ずさんでいきましよう。



こじま 小島よしきさん

1985年、上峰町生まれの演歌歌手。幼少から音楽に親しみ、幅広い音楽と楽しいステージを日本全国に提供。作詞作曲を行い、佐賀をテーマにした楽曲も豊富で、音楽を通じて地域のPR活動に尽力しています。